首都大学東京ボランティアセンター

Newsletter

Vol.2
August 2016

ボランティアセンター通信

首都大学東京
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

「平成28年 熊本地震」への復興支援活動

本年4月14日に発生した「平成28年熊本地震」により、熊本県を中心とした九州地方に大きな被害が発生しました。4月から本格稼動した本センターにおいても、新たな活動の開始に向け、新入生をはじめとする学生の来室を心待ちにする一方で、被災された方々に対し、東京からできる支援を模索してきました。

上記の写真は、日野市で行われた「新選組まつり」での募金活動の様子です。本学からは2名の学生が参加し、その他、法政大学や明星大学、実践女子大学、中央大学など多摩エリアの大学から学生が駆けつけ、総勢25名で活動しました。集まった金額は、3時間で148,004円。活動を終えた学生からは「友人が熊本にいるのでその友人の事を想って活動した」といった感想が述べられました。

また、本センターでは、現地でのボランティア活動を考えている学生に対して、2回のメッセージを発表し、情報提供や注意喚起を行ないました。引き続き、刻々と変わる現地の状況に応じて、学生の皆さんに情報発信をしていきます。

アドバイザーからのメッセージ

近年、日本のボランティア人口は緩やかに減少しています。2015年から日本の総人口が減少していることを考えれば、当然かもしれませんが、その一方で、高齢化する人口を支えるためのボランティア活動に期待が寄せられています。

そうした社会の転換期において、ボランティア活動のあり方も従来のものから刷新される必要があるでしょう。一部のやる気のある人のみが取り組むものではなく、社会の仕組みの中に、そして人々の生活の中にボランティア活動が位置付けられることが重要です。

ボランティアセンターでは、ボランティア活動を通して学生が東京という大都市の中に身を置き、体験を通してこの都市のあるべき姿を創造し、それに向かって貢献できるようなリーダーシップの養成を進めています。
皆さんの参加を期待しています。

ボランティアセンターアドバイザー
都市教養学部人文・社会系　准教授
室田　信一

活動履歴

【4月】

1)親子でタケノコ掘り in 首都大・松木日向緑地

「地域ボランティアプログラム」のプレ企画として、本学の学生と、近隣の柏木小学校の生徒とその親御さんが参加。計3日行われ、里山保全について学びながらタケノコを掘った。

2)熊本地震に係るメッセージ①

3)募金活動 in 高幡不動駅前

「熊本地震」支援のため、4/22に多摩地域の大学と連携し、募金活動を行った。総勢50名の学生が関わり、集まった募金額は40万円以上となった。

【5月】

1)募金活動 in 新選組まつり

5/8に日野市で行われた新選組まつりにて、「熊本地震」支援のための募金活動を行った。（表紙の写真はその際のもの。）

【6月】

ボランティアプログラム始動！

1)ボランティアプログラム「事前学習Ⅰ」

詳細は、右記をcheck→

2)「東京都障害者スポーツ大会」運営ボランティア

「スポーツボランティアプログラム」のプレ企画として、運営ボランティアに本学の学生が参加。各競技の1位や大会新記録の発表など、アナウンスのサポートを行なった。

3)スポーツボランティアプログラムキックオフオープン講座「スポーツボランティア入門」

プログラムの連携団体である東京都障害者スポーツ協会と東京マラソン財団から講師をお招きし、本センターのアドバイザーで、健康福祉学部理学療法学科の信太奈美先生を進行役に、映像も交えて様々な角度からスポーツボランティアの魅力やボランティアの役割・意義などについてお話しいただいた。参加者は40名、地域の方も来場した。学生からも質問が出され、活発な意見交換が行なわれた。

ボランティアプログラム「事前学習Ⅰ」

6月4日（土）、南大沢キャンパス91年館にて、ボランティアプログラム「事前学習Ⅰ」を開催しました。「スポーツ」と「地域」の2つのプログラム合同で実施し、合計25人の学生が参加しました。講師は、ボランティアセンターアドバイザーであり、都市教養学部 人文・社会系 社会学コースの室田信一先生にご担当いただきました。

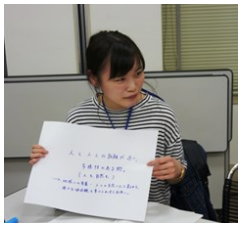
ボランティア活動のキー概念である「自発性」「社会性／公共性」「無償性」を軸に、グループワークを通じて、この活動に参加しようと思った動機について話し合い、共通点や異なる点、個々の動機とプログラムの社会性・公共性を関連づけて考えることで、自分と社会との接点について考えました。

最後には、今後の活動に向けて、一人ひとりが「首都東京をどのような街にしたいか」「その中に自分をどのように位置づけたいか」を宣言しました。

学生からは、「他の人の意見を聞いたり、質問に答えたりすることで、自分の考えが整理された」「プログラムの目標や自分たちが活動する意義が見出せた」「まだ知識が足りないことが分かったので、活動を通して考え、身につけていきたい」などの声が聞かれました。

今後は、プログラムごとに行われる「事前学習Ⅱ」を経て、具体的な活動に入っていきます。

←グループワークの様子。活動の「社会性・公共性」を細かく分析している。



←今後の活動に向けての宣言を発表している様子。多角的な視点から目指したい首都東京像が挙げられた。

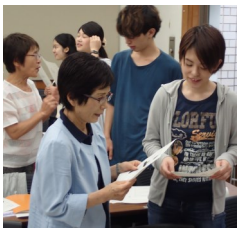
「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座

7月9日（土）、南大沢キャンパス1号館にて、東京都との連携のもと、「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を実施しました。これは、東京都が主催している事業で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、外国人観光客等が安心して東京に滞在できる環境を整えるために企画されたものです。講座には学生17名・教職員4名が参加し、外国人が街中で困っている際、簡単な外国語で積極的に声をかけ、東京での旅を快適に過ごしてもらえるよう手助けする方法や心構えを学びました。講義は、ロールプレイやディスカッションを中心に進められ、3時間半の長丁場にもかかわらず、参加者たちは終始楽しみながら受講している様子でした。

講義の最後には、参加者全員で「おもてなし5か条」を作成。「笑顔」「日ごろからの情報収集」「相手を尊重する」「分からなかったら即言う」「情熱をもつ」の5つが選ばれました。

講義を終えた参加者からは、「思った以上に自分の意図は伝わるとわかり、話しかけることへの抵抗感がなくなった」「英語力以前に、笑顔と迎える心が大切だとわかった」といった感想が挙げられました。

←ロールプレイの様子。言葉だけでなくジェスチャーなど様々な方法でコミュニケーションをとる練習を行なった。



←学生だけでなく教職員の参加もあり、学生と共にロールプレイをして学び合った。

ボランティア団体フェア「サマボラ2016！」

7月6日（水）と7日（木）、南大沢キャンパス7号館スタジオにて、ボランティア団体フェア「サマボラ2016！」を開催しました。この取組は、「夏休みにボランティアをしたい」「興味はあるけど、どんな活動があって、どれが自分に合うのかわからない」という人に対して、学内外の様々な分野のボランティア団体から直接話を聞く機会を提供することで、参加につながるきっかけをつくることを目的に開催しました。

参加団体は、国際や環境、スポーツ、福祉、復興支援など、多岐にわたり、訪れた方の総数も2日間で120名を超えました。また、特別企画として、「熊本地震の報告会」や「車いす・高齢者疑似体験」も実施しました。

この取組は、主に、本センターの学生コーディネーターが企画・運営を行いました。

参加した学生からは、「実際に話を聞いてみて、“誰かのために”が、同時に“自分のために”にもなるのではないかと感じ、参加意欲が高まった」「被災した方々への継続した心の復興を行うことが大切だと感じた」などの感想が聞かれました。

←車いす体験を行なっている様子。坂道や段差など様々な場面で体験した。

←熊本地震の被災地の現状やボランティア活動の報告。中央大学の学生と、国際ボランティアNGOの方にお話しいただいた。

【サマボラをきっかけにボランティア活動を始めた人の声】

赤い帽子が藤田さん
小学生役を熱演中

私は普段、応援団の一員として学内の団体に対する活動を行っていますが、サマボラをきっかけに、学外や地域へも目を向けてみようと思い、活動を始めてみました。小学校において、避難所宿泊体験など子どもたちが防災について考える取組の運営サポートを行ないました。全くのボランティア初心者でしたが、担当の方から感謝のお言葉を頂いたり、他のボランティアの方とも繋がることができたり、最後に子どもたちから「また会おうね！」と言われたりして、素直にやってみて良かったと感じました。　（応援団リーダー部　2年　藤田涼平）

今後の活動紹介（予定）

首都大ボランティアプログラム

本センターでは、首都大独自のボランティア活動として、「首都大ボランティアプログラム」を実施しています。このプログラムでは、年間を通じて学習と連動した活動を行うことで、参加した学生が社会のボランティアリーダーとなることを目指しています。今年度は、「スポーツ」と「地域」の2つのプログラムがあり、スポーツには21人、地域には14人の学生が参加しています。活動報告にもあるように、**前期は学習が中心でしたが、後期からは本格的に活動に入っていきます。**今後、各プログラムごとに、右の「今後の活動予定」に記載したものを中心に、毎月のように活動を行っていきます。

1day（1日体験）ボランティア

（実施予定：11月～12月）

「ボランティアに関心はあるけど、一人で始めるのは不安」「継続できるか心配」といった人に対して、**まずは“1日”お試し体験ができる企画を実施します。**体験に加えて、事前・事後学習もセットで行い、ボランティア活動について学んだり、体験したことを振り返ったりする機会も設けます。活動が自分にマッチしたら続けるもよし。まずは、はじめの一歩を踏み出してみませんか。

※詳細は10月頃、ボランティアセンターのホームページに掲載する予定です。

【7月】

1）ボランティア団体フェア「サマボラ2016！」

←詳細は左記をcheck

2）「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座

←詳細は左記をcheck

3）スポーツボランティアプログラム「事前学習Ⅱ（障がい者スポーツ）」

7/16、連携団体である東京都障害者スポーツ協会の方に講師をご担当いただき、17名の学生が参加した。これから始まる障がい者スポーツのボランティア活動に向けて、貴重な映像も交えながら具体的な知識や技術、大切な視点等について学習した。

【8月】

1）熊本地震に係るメッセージ②

2）「東京2020ライブサイト in 2016 リオから東京へ」運営ボランティア

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック期間中、東京の国営昭和記念公園にて、映像の生中継やステージイベント、競技体験が実施されている。この運営に、本学から6人の学生がボランティアとして協力している。

～今後の活動予定～

- 1day（1日体験）ボランティア
- 「東京マラソン」運営ボランティア
- 「スポーツボランティアプログラム」（車椅子バスケットボール、首都大少年少女サッカー大会等の運営）
- 「地域ボランティアプログラム」（竹林の間伐と竹炭づくり等）

など

※「活動履歴」に載せた活動は、すべて本センターのホームページ（下のQRコードから）に、より詳しい記事を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

新たな学生コーディネーター紹介

（中央がヒロシュウくんで右がマイマイさん。左は4月から活動している3人）

～6月から、2名が加わり5名体制へ～

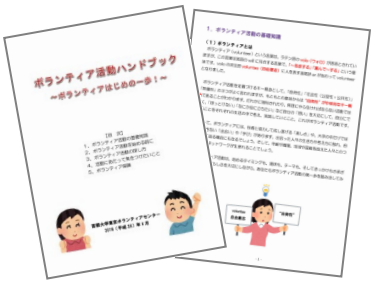
今年度の6月より、新たに2名の学生が、学生コーディネーターとして本センターに入ってきてくれました。人文・社会系社会福祉コースのヒロシュウくんと法学系政治コースのマイマイさんです（両者ともニックネーム）。週に1度のミーティングがさらに活発になりました。学生コーディネーターはこれで5人となり、それぞれの個性を活かし、より活躍の場を広げていきたいと考えています。これから後期に向けて、全員で一丸となり、頑張っていきます！！

（学生コーディネーター　一同）

ボランティア活動ハンドブック作成

～これからボランティア活動を始めたい学生の皆さんへ～

本センターでは、これからボランティア活動を始めたい学生の皆さんに向けて、「ボランティア活動ハンドブック～ボランティアはじめの一歩～」を作成しました。このハンドブックには、ボランティア活動の基礎知識や活動の探し方、気を付けるべきこと等が掲載されています。「さぁ、ボランティアしよう」と思っている方はもちろん、「そもそもボランティアってなんだろう」という方も、ぜひお手にとって見てみてください。本センターにて無料でお渡ししています。



ボランティアセンターからのお知らせ

～「熊本地震」被災地域でのボランティア活動を考えている方へ～

8月1日、本センターのホームページにて、『「平成28年熊本地震」被災地域でのボランティア活動を考えている学生の皆さんへ（第2報）』を発表しました。夏休み期間中に被災地でボランティア活動をしたいと考えておられる方は、必ずご確認ください。

～ボランティア活動をしている学内団体の皆さんへ～

ボランティアセンターでは、ボランティア活動を行う学内団体に対して、活動のサポートやリスクマネジメントの観点から、登録制度を設けています。登録団体には、以下のサポートを行います。

①ボランティア保険（300円～）加入手続きの代行
②活動がより充実するためのステップアップ講座の開催
③活動に役立つ情報とPRの機会の提供
　…本センターの広報媒体やイベント等で活動のPR機会を提供
④書籍や資料、備品、機材等の貸与
　…パソコンやカメラ、ビデオカメラ、ICレコーダー、プロジェクター、スクリーン、ジャンパー、ビブス等

※ボランティアを主目的とした団体でなくても活動の一環でボランティア活動や地域貢献活動をしている団体も登録していただくことができます。

～メールマガジンに登録しませんか～

センターからのお知らせや学外のボランティア募集や講座、助成金情報等をお届けします。登録を希望する方は、件名に「メールマガジンの登録希望」と明記し、以下の事項を記載し、下記のセンターのメールアドレスまでご連絡ください。

①氏名　②学修番号（学生の場合）　③登録するメールアドレス

ボランティア募集情報

※いずれも詳細や申込みは首都大学東京ボランティアセンターまで

小学生と「ペットボトルロケットを飛ばそう！」

【主催：八王子市立愛宕小学校　学校運営協議会】

活動日：8/22（月）・23（火）　9：00～12：00
場　所：八王子市立愛宕小学校（南大沢駅より徒歩14分）
活動内容：小学生がペットボトルロケットをつくって飛ばすサポート

森林ボランティア「多摩の森・大自然塾」奥多摩・鳩ノ巣フィールド

【主催：認定NPO法人JUON（樹恩）NETWORK】

活動日：8/21（日）・9/18（日）・10/16（日）　（以降も月1回程度）
場　所：東京都西多摩郡奥多摩町
活動内容：下刈り・道づくり等（変更する場合有）
詳　細：http://hatonosu.blog39.fc2.com/
締　切：各活動日の10日前（必着）

養育家庭で暮らす子どもたちへの学習ボランティア

【主催：東京都里親支援機関NPO法人キーアセット】

活動日：希望を聞き調整
場　所：都内の各地
活動内容：養育家庭（里親）で生活している子どもたちに勉強を教える学習支援ボランティア

＜編集後記＞

7月発行予定だったニュースレターですが、ひと月遅れの8月の発行となってしまいました。申し訳ありません。さて、現在、学生の皆さんは夏休みですが、予定は決まりましたか？暑さ故、外出が億劫になる季節ではありますが、ぜひいろいろな場所へ足を運んでみてください。きっと大きな出会いがあるはずですよ。何をしようか迷ったら・・・ボランティアセンターへ！

＜編集・発行＞
首都大学東京ボランティアセンター
〒192-0397　東京都八王子市南大沢1-1　1号館1階
電話&FAX：042-677-1354（直通）／内線2260
E-mail：tmu-volunteer@jmj.tmu.ac.jp
URL：http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/12_volunteer/
発行日：平成28年8月